

ゴルフは最近の異常なまでのブーム、特に女性ゴルファーの急増によって、手軽にできるスポーツの一つとして、全国で約1500万人の人が愛好しています。

今回は女子プロゴルファーであり、W.S.F.J.の会員でもある榎井映里さんにお話を伺いました。

「女性に、ゴルフが人気があるということについて、どのように思われますか。」

「現在のブームの始まりは、10年前前からです。女性が手軽にゴルフをできるようになったのは、やはりゴルフスクールが普及して、そこで始める人が増えたからでしょう。スクールは初め、練習場が空き対策として設けられ、対象も昼間、時間のある女性(主婦)でした。その後、学生やOLなどを対象に夜間も行われるようになりました。」

「実際に女性がコースに出た場合、何か問題はありますか。」

「ちょうど10年前位前に達成されたゴルフ場は、女性のゴルファーをある程度見越していましたから、それなりの施設(トイレ・シャワー室等)はありますが、古くからあるコースや、いわゆる名門コースといわれているところでは、施設面での受け入れ体制が整っていないのが現状です。」

「う對抗意識で始める場合もあるようです。」

「話は変わりますが、榎井さんは現在、日本女子プロゴルフ協会の理事をされており、W.S.F.J.の会員でもあるわけですが、なぜ、この会へ入会されたのですか。」

「ゴルフ以外のスポーツをしている人たちと連絡をもったり、お互いの情報を交換したいと思っていた時、後輩の女子プロから、女性のスポーツを考える団体があることを聞いて入りました。」

「会員になられて1年以上たちますが、いかがですか。」

「最初に考えていたものとは大分違っていました。ある程度までできあがっている団体だと思っていましたが、私の初めの目的であった他の団体との交流も、いま一つの足りません。」

「具体的に一例をあげてもらえませんか。」

「現在の活動の一つになっている、体協に女性理事を送るということなどです。私たちの協会は、あまり男女差別や、女性によるハンディがないためかもしませんが、この問題に対して反応できない部分があります。女子プロゴルフ協会の場合、男性と対等に何かしようとする時、たとえば、世界の会議に出る時などは、その当事者が積極的に勉強し、自分でアプローチして、自分で地位を得るといふ努力をしてみました。」



▲「入会時に具体的なインパクトを」と榎井さん

男性と対等の地位を得るには自分達で積極的にアプローチしていくことだと思います。
榎井映里さん

昭和22年1月29日生まれ。慶応義塾大学卒業。アマチュア時代からトップ選手として活躍、全日本女子学生、中日杯、関東女子アマなどの大会で優勝、世界アマチュア選手権に日本代表で2回出場。プロ入り後も、日本女子プロ6位、日本オープン12位などの戦績を持つ。現在は(社)日本女子プロゴルフ協会理事、広報委員長などを務める。ゴルフ解説者としてマスコミ各方面でも活躍。著書に「レディスゴルフ」(廣済堂出版)がある。

「かっただけではないでしょうか。」

「その点はわかりませんが、アマチュアゴルフ協会は差足して50年、男子のプロゴルフ協会は30年、女子も20年になります。女子プロゴルフ協会の組織はともしてもしっかりしていますし、運営もとてもうまくいっています。まあ、財政が豊かということがあるかもしれませんが、ゴルフ協会の組織づくりや運営のしかたは、W.S.F.J.の今後の活動方法に役に立つ部分があると思います。」

「まず、W.S.F.J.のどのような点を改善したらよいでしょうか。」

「入会した場合、具体的なインパクトを受けるものがほしいですね。私ぐらいの年齢になりますと、「世の中はもったつもたれつ」という考え方が湧いてくるのであれば、忙しい中でも応援したいと思っています。入会した時に、もう少しわかりやすく、具体的に行動をおこせるものがあればいいと思います。」

「最近では、指導者として地方に行かれることも多いそうで、大変お忙しいところ、今日は貴重なご意見を伺うことができました。」

「学生の頃からゴルフ一筋で、最近では、自分のできないことに挑戦しようと、ピアノやワープロを練習中とのこと。鍛えぬかれた心身はとても素敵でした。(11月6日取材・聞き手 吉田朱美)」

「コースに出る女性も、年々増えてきているですね。」

「一度コースに出ると、やはりやみつきになるようですね。しかも、女性の場合、気の合う仲間との社交もかねて回るようです。とても気分がよいものですし、ゴルフそのものがとても奥の深いスポーツですから、これからもっと愛好者が増えると思います。」

「ゴルフ場の農業による人体への影響が心配されていますが……。」

「プレーをするに限り言えば、今の段階では心配ないと思います。コースに出るには、まだまだ費用がかかりますから、月に1、2度の人々が大部分で、むしろ、広々とした中でプレーの精神的効果の方が大きいと思います。」

「外国では、日本のようなゴルフブームはみられません。」

「多分、日本独特だと思います。欧米の人は概してゲームを楽しむのですが、日本の場合、特に女性は、ゴルフを一種の社交、ファッションとしてとらえて、スポーツとしてのゲームを楽しむ、というタイプの人は少ないように思います。」

「社交、ファッションといいますが……。」



美しいプロポーションのために
ノーブルシェイプアップファンデーション

- 線力バードヤーン使用で、伸縮性、透気性、保温性に優れ、肌触り良く、素に着られます。
- 人間工学的なパターンづくりに、伸度バランスに優れたパワーネット編みで着くずれしません。
- どんな体型の方でもぴったりフィットの豊富なサイズ。

●セット内容:ブラジャー2点/ウエストニッパー2点/ガードル2点/スリーインワン2点
シューズ4点/パレディストッキング4点 合計8種16点 定価200,000円

●ノーブルシェイプアップファンデーションは、お近くの美容室・エステティックサロンでお求め下さい。

総発売元 **滝川株式会社**
〒111 東京都台東区元浅草3-2-1 TEL.03-543-2479(ノーブル直営)